

公益社団法人日本地球惑星科学連合  
2025 年度(令和 7 年度)第 2 回理事会議事録

1. 開催日時 2025 年 7 月 18 日(金)13:00-16:00

2. 開催場所 Zoom によるオンライン会議

3. 出席者      理事数              20 名  
                 出席理事          15 名      (定足数 11 名 会議成立)

4. 議 長      理事   ウォリス サイモン

5. 出席役員

理事 ウォリス サイモン

理事 小口 高

理事 阿部 なつ江

理事 河宮 未知生

理事 原田 尚美

理事 成瀬 元

理事 道林 克禎

理事 和田 浩二

理事 大谷 栄治

理事 沖 理子

理事 小口 千明

理事 掛川 武

理事 関 華奈子

理事 田近 英一

理事 村山 泰啓

監事 鈴木 善和

監事 春山 成子

監事 松本 淳

オブザーバー

大気水圏科学セクションプレジデント 佐藤 薫

地球人間圏科学セクションプレジデント 須貝 俊彦

固体地球科学セクションプレジデント 田中 聡  
地球生命科学セクションセクションプレジデント 大河内 直彦  
情報システム委員会委員長 興野 純  
グローバル戦略委員会幹事 SONG Wonsuh

## 6. 議事内容

### 審議事項

#### 第 1 号議案 新入会員承認の件

- ・定款第 8 条 2 項の会員の入会の定めに従い、新規入会者の入会を審議した。今回までに承認された会員が代議員選挙の選挙権を有することとなる。
- ・近日、年会費の支払いが 2 年間滞納している正会員の退会処理を行う。一方、准会員については年会費チェックの仕組みがなく、実態のない会員もそのまま残っているので、今後実態を把握する予定であるという説明があった。

#### 第 2 号議案 団体会員新入会承認の件

- ・定款第 8 条 2 項の会員の入会の定めに従い、一般社団法人日本風工学会の団体会員新入会を審議した。これを承認した。

#### 第 3 号議案 選挙管理委員会及び選挙日程承認の件

- ・選挙管理委員会および選挙日程を審議した。これを承認した。
- ・代議員選挙にあたって、代議員に期待される職務等について記述したものとよいというコメントがあった。これに対し、高校生発表の審査員をつとめられることが期待されるが、こうした役には資格が規定されていることもあるので注意が必要であるというコメントがあった。
- ・松本監事から、審査員は代議員の主要な業務というわけではないが、依頼をするというのはよいのではないかというコメントがあった。
- ・事務局より、このほど法律が改正され、公益社団法人においては外部理事・外部監事の選出が義務となることについてあらためて説明があった。

#### 第 4 号議案 公益社団法人日本地球惑星科学連合 和達賞（固体地球科学セクション賞）審査委員会設置の件

公益社団法人日本地球惑星科学連合 和達賞（固体地球科学セクション賞）審査委員会規則の設置を審議した。これを承認した。

なお、附則（1）の施行を 8 月 1 日とする。和達賞規則も 8 月 1 日とする。

## 報 告 事 項

### 1. ウォリス サイモン代表理事 職務報告

- ・ Taiwan Geosciences Assembly (Taipei, 6/16-19)での参加および講演について報告があった。
- ・ 日本地理学会の創立 100 周年記念イベントへの参加について報告があった。
- ・ AGU 会長 Brandon Jones 氏との対談について報告があった。

### 2. 小口 高理事 職務報告

- ・ 日本地理学会の創立 100 周年記念イベントへの参加について報告があった。
- ・ JpGU 大会時の参加者免除枠を設定することを検討している。背景として協力国際学会との連携が説明された。

### 3. 阿部 なつ江理事 職務報告

- ・ Global Geoscience society の Diversity タスクフォースの活動報告があった。各学会の倫理規則のとりまとめが進み、いったん区切りがついたところである。

### 4. 原田 尚美理事 職務報告

- ・ 事務局より代理で環境災害関連セッションの開催報告があった。

### 5. 河宮 未知生理事 職務報告（ジャーナル、財務、情報システム担当）

- ・ スポンサー関連について報告があった。2026 年の JpGU-AGU ジョイント大会における学生支援とスポンサー集めについて、JpGU 事務局担当者らと打合せを開始した。また当該大会の財政モデルの基礎となる参加見込み数の詳細についても打合せをした旨報告があった。

### 6. 高橋 幸弘理事 職務報告

- ・ 報告を省略した。

### 7. 道林 克禎理事（総務担当）職務報告

- ・ 後援、協賛イベントについて報告があった。
- ・ ハイブリッド大会参加者多様化促進事業積立資金規則について説明があった。2026 年大会に向けて、これまでの学生旅費支援に比べ、より幅広い使途に用いることができる。複数の委員会の所掌にまたがるため、各委員会から委員を選出してタスクフォース等を組織することを検討している。

### 8. 成瀬 元理事（財務担当）職務報告

- ・ 2025 年大会の収支決算書について報告があった。

### 9. 和田 浩二理事（大会運営担当）職務報告

○2025 年大会の開催報告があった。

- ・ 展示場ホールの拡張、HDMI 接続方式、ポスターコアタイムの延長、ハイパーウォールエリアでの JAXA、JAMSTEC の各講演会、大会行動規範の制定、展示ブースの

「仲見世」方式などの今大会の特徴の説明があった。

- ・発表件数、参加者数等の統計データが示され、過去最高レベルであったとの説明があった。セッション数、投稿数、現地参加率、ポスター掲示率等についても説明があった。

- ・巡検、協定書調印式、Mixer Luncheon 等を含む会場風景の写真とともに現地の様子が紹介された。

- ・大会アンケートの結果が紹介された。現地参加の感想は概ね高評価であり、またハイブリッドシステムについての今後については残したほうが良いという意見が大半であった。ジョイントミーティング 2026 大会について様々な意見・要望があったこと照会された。課題としては、緊急セッションは 2 か月前までには提案が欲しい、特設口頭発表の機器や配置の改善、現地ポスターの位置案内や終了時間の再検討、巡検企画の早期告知や周知の必要性、無料 wifi のつながりにくさが挙げられた。

○2026 年大会の準備報告があった。

- ・2026 年 5/24～5/29 日に幕張メッセとオンラインのハイブリッド形式での開催を予定している。基本的な開催方式は 2025 年大会を踏襲し、展示場ホールを 2 面用いて、特設会場は 8 会場の設営を予定している。

- ・英語化率向上策として以下の 2 点をセッション提案受付時にウェブサイト等に掲示し理解を浸透させることが重要であるという議論が報告された。ジョイントセッション意義と開催経緯についての説明、および原則としてすべての通常セッションは E セッションとなる点の説明の 2 点である。また、J セッションとする理由を明記してもらうということを検討している。

- ・パブリックセッションガイドラインの見直しを行っている。これまではすべて[J]セッションであったが研究者との交流を基準として[E]も可とすること、日曜 1 コマ制を導入すること、現地への旅費補助をハイブリッド大会でも行うこと、を検討している。

- ・日英中高生発表をわけてそれぞれパブリックセッションとして開催することを予定している。

- ・プレナリートークとイベントの時間帯についての検討が報告された。

プレナリートークは 5 月 25 日～29 日（平日毎日）の昼休みの実施を検討している。

舞台上に特殊な準備等が必要な場合は、移動等で前後のセッション開催に差し障りがあることが予想される。

- ・International Mixer Luncheon は初日 24 日の昼休みに開催の予定、西田賞受賞者公演は PM3 での開催という案や 2027 年大会での開催という案が検討されている。

- ・緊急セッションは 2 か月前までに提案するようガイドラインを改定予定である。

- ・プログラム委員会について、委員長は Satish-Kumar 氏と Carol Finn 氏の共同委員長

となる。各セッション選出委員の選出依頼を行った。

- ・セッションコンビーナは通常最大4名であるが、今回は最大6名までとする。
- ・セッション提案受付開始を従来より二週間早めて9月17日を予定していることが報告された。採択会議は10月21日、編成会議は対面で11月6日7日を予定している。
- ・セッションより、対面会議を日程決め打ちで開催する場合、関連学会の重要なイベントと重複すると特定の分野の委員が参加できないことになるため、そういったイベントは避けてほしいというコメントがあった。
- ・Jセッションであることの理由をスコープに書くというのは良い案であるというコメントがあった。スコープに書かれていない場合の扱いについても意見交換があり、記載がない場合も再提出を求めるなどの手順は不要であり、コンビーナ自身の責任において記載しない、ということによいのではという意見があった。
- ・英語化の説明に関して会長に文案を依頼することとなった。ただしグローバル戦略委員会でも同様の文を用意しているということなので、JpGU全体として整合性のある発信をすることとした。

#### 10. 沖 大幹理事（グローバル戦略担当）職務報告

- ・代理で Song 幹事から報告があった。会議開催報告を行った。セッション英語化促進のための文章を検討している。

#### 11. 広報普及委員会活動報告（田近理事）

- ・JGL 編集状況について報告があった。
- ・メールニュースの発行報告があった。英語版の配信が遅れたためお詫びをひとこと添えて配信した
- ・2025 年大会で、プレスの方よりハイライトの事前レクチャーと JpGU 幹部との懇談の場を設けてほしいという意見があり、実現可能かどうか別途検討したい。

#### 12. 環境災害対応委員会報告（小口 千明理事）

- ・2025 年大会で以下の4セッションを開催した。
- 1. パブリックセッション（緊急セッション）O-12 2025 年ミャンマー中部の地震と被害 J （オンライン参加者：最大 101 名）
- 2. パブリックセッション O-10 阪神・淡路大震災から 30 年－教訓と進展 J （対面参加者：約 70 名、オンライン参加者：約 50 名）
- 3. ユニオンセッション U-11 連鎖複合災害に対峙する人間圏：能登半島豪雨災害の総合科学 （対面参加者：約 30 名、オンライン参加者：50 名）
- 4. ユニオンセッション U-05 気候変動と再生可能エネルギー利用の課題 E

(対面：約 15 名 オンライン：約 20 名)

なおいずれのセッションも『オンヤク』を導入した。

- ・ぼうさいこくたい 2025 in 新潟 (9 月 6 日 7 日) @朱鷺メッセ新潟コンベンションセンター) への参加準備について報告があった。
- ・学協会選出の委員に各学会の取り組みを情報収集してポスターを作成予定である。
- ・昨年度から、ポスター展示 2 枚のうちの 1 枚を防災教育小委員会にも依頼し、共同で参加している。
- ・ブース紹介ページを準備している。

### 13. ダイバーシティ推進委員会活動報告 (堀利栄理事)

- ・学童ルームを設置した。利用者は少なかったが、利用者満足度は高かった。
- ・大会時キャリア相談会を実施した。Confit のみで行っている。
- ・月曜と火曜に就活支援イベントを実施した。それぞれ 9 団体 7 団体が参加した。
- ・中高生・大学生イベントとして学協会紹介、大学紹介コーナーを設置した。「地球惑星科学を学べる大学・研究室」についてはまだ漏れている情報があるので、周知にご協力をいただきたい。
- ・若手研究者の支援について相談を受けた。今回若手研究者がブース出展を行った。

### 14. 教育検討委員会活動報告 (宮嶋敏理事)

- ・事務局より代理で報告があった。小中高教員のための地球惑星科学教育研修、理数系学会教育問題連絡会の運営委員会会の開催、2025 年大会でのパブリックセッションの開催について報告した。

### 15. 情報システム委員会活動報告 (村山担当理事)

- ・村山理事より、システムリプレイスの進捗状況について報告があった。当初のスケジュールよりは遅れ気味であるが、業者選定のための作業を行っている。  
9 月の理事会で業者選定の審議を行ってほしい旨、説明があった。  
鈴木監事より、本件は予想費用に鑑み重要な財産に当たるため、決定を理事に委任せず村山理事の説明通り理事会審議とするべきである旨コメントがあった。
- ・大谷理事より RDM-TF の開催報告があった。JST が導入予定の Data Repository である GRANTS-Data の準備状況、各大学の状況について情報交換を行った。住本研一氏、宮入暢子氏、南山泰之氏を RDM-TF のメンバーに迎えたという報告があった。
- ・ORCID の動向について報告があった。

### 16. ジャーナル関連活動報告 (掛川理事理事)

・全体編集会議を行った。Springer 社から説明員を招いて現状の確認などをおこなった。

・投稿出版状況は順調であり、SPEPS などの投稿も多数受け付けている。

#### 17. 顕彰委員会活動報告（道林理事）

2025 年大会で表彰式を開催した。

和達賞規則等について審議した。

学生優秀発表賞の受賞者発表について報告があり、小委員会に対し謝意が述べられた。

#### 18. その他

(1) 長谷川理事よりジオエシックス関連活動報告があった。

・大会行動規範に合わせて用意した情報入力フォームに 2 件投稿があった。うち 1 件は大会行動規範でなく会員システムについての連絡であったため、システム担当部署に申し送る。もう 1 件は大会行動規範に関わるものであり、その投稿を参考に行動規範の小改訂を予定している。

・関連規則について、現在、会員向け、大会時のもの、倫理委員会規則などいくつかの規則がある。連携が十分でない面もあるため、時間をかけて精査し改定することを予定している。

(2) ウォリス会長より、故西田篤弘フェローの功績についてあらためて紹介があり、参加者一同、黙とうを捧げた。

議長は以上をもって、すべての議事を終了した旨を述べ、閉会を宣した。(午後 16 時 00 分)

以上の議事の要領及び結果を明確にするため、本議事録を作成し、出席役員は次に記名・押印する。(捺印欄配布時省略)

2025 年 7 月 18 日

出席理事                      ウォリス                      サイモン                      印

出席理事                      小口                      高                      印

出席理事                      阿部                      なつ江                      印

出席理事	河宮	未知生	印
出席理事	原田	尚美	印
出席理事	成瀬	元	印
出席理事	道林	克禎	印
出席理事	和田	浩二	印
出席理事	大谷	栄治	印
出席理事	沖	理子	印
出席理事	小口	千明	印
出席理事	掛川	武	印
出席理事	関	華奈子	印
出席理事	田近	英一	印
出席理事	村山	泰啓	印
出席監事	鈴木	善和	印
出席監事	春山	成子	印
出席監事	松本	淳	印